法政大学経済学部同窓会報

第88号 2023年（令和5年）5月1日
法政大学経済学部同窓会（略称 法政経友会）

発行人：村田紀敏（同窓会会長）／編集人：執行部編集委員会
〒194-0298　東京都町田市相原町4342 法政大学経済学部研究棟4階420号室
電話・FAX 042-783-2550　http://www.hoseikeiyukai.jp/
郵便振替口座001706−602070　三菱UFJ銀行橋本支店普通口座0166670
＊事務局の開設日時は、火曜日と金曜日の9：30 ～ 15：30です

本会は、会員相互の親睦をはかり、経済学部および母校の発展ならびに社会・文教の進歩に寄与することを目的とする。（同窓会会則第３条）

若手、中堅の入会を促進するために 新入会員と同窓会役員との懇談会を開催

まだ寒さの厳しい、２月18日土曜日の午後１時から約２時間半にわたり、水天宮前の中華料理店「翠蓮」において、新入会員と同窓会役員との懇談会が催されました。

新入会員は、和田浩史さん（１９８８年卒）、川野淳子さん（２００６年卒）、小澤理佳さん（２０２１年卒）、佐田友亮さん（２０２２年卒）が、同窓会役員は、村田紀敏会長、加藤毅会長代行、花澤良三幹事長、高森正雄事務局長、渡邉瑞江常任幹事、岡野哲也常任幹事が出席しました。

初めに、村田会長より挨拶があり、続いて加藤会長代行、花澤幹事長、高森事務局長の順で挨拶がなされ、続いて村田会長の音頭で乾杯となりました。

この会の主旨は、経済学部同窓会のメンバーが高齢化している中、皆で若手、中堅の入会を促進し、経済学部同窓会を盛り立てていこうというものです。

同窓会役員からは、新入会員に向けて、主に次のような話がありました（要旨をまとめ直しました）。

「河口には川の栄養素が沢山集まってきます。そしてそれは少しずつの栄養が集まったもので、さまざまなものを形成する大きな原動力になっています。同窓会もこのように、皆さんの英知を集め、それを分かち合う会を定期的に開ければと思っています」（村田会長）。

「経済学部同窓会は、中堅層が歯抜けになっている状態です。今回、若年層に加え中堅の方が入会されたのが心強いです。ぜひ積極的に関わっていただければと思います」（花澤幹事長）。

「会員の高齢化が進む中、今回、新しい会員と交流の場が持てたのはとても貴重だと思います。コロナ渦で、仕事の現場でもオンライン化が進んでいると思いますが、それにはメリットとデメリット両面があるかもしれません。しかし、今の世の中はオンラインで物事が進むようになっているのが現実で、経済学部同窓会としても、その流れに乗る選択肢を考えていかなければと思っています」（高森事務局長）。

2面へ

2023総会・オレンジの集いのご案内

＊日時　2023年６月３日（土）　10：30 ～
＊場所　主婦会館　プラザエフ
（JR・東京メトロ　四ツ谷駅前）
【第１部】2023年度定期総会　10：30 ～
【第２部】経済学部オレンジの集い　11：30 ～
（着席形式を予定）
講演：竹口圭輔経済学部長
＊会費　8,000円（ご家族5,000円）（予定）

参加を希望される方は、同窓会事務局に電話、FAXまたはメールにてお申し込みください。

■経済学部同窓会事務局■

電話・FAX：042-783-2550
メール：jimukyoku@hoseikeiyukai.jp

電話の場合、開局日は毎週火曜日・金曜日午前９時30分～午後３時30分までですのでご承知おきください。

なお、メッセージを残されても結構です。

「社会のオンライン化を進めているのは若者です。経済学部同窓会でも、若手、中堅メンバーにより、オンライン化の取り組みを始めたところで、Twitterと公式LINE自動配信の同時配信を作成中です。新入会員の方にも知恵と力をお借りし、先輩の方々が築き上げてきたものを引継ぎつつ、これからの日本を担う若い世代に応えうる環境を、整備していきたいと考えています」（渡邉常任幹事）

一方、新入会員からは主に次のような発言がありました（要旨をまとめ直しました）。

「友人より、経済学部同窓会が楽しいとのことで勧められ、入ってみたいと思いました。私は、多摩校舎第一期生で、当時はまだ社会学部棟しかできておらず、経済学部生は社会学部棟にて講義を受けていました。同窓会への入会時に気になったのは、入会金の振込方法です。郵便振替だとめんどうで、入会の敷居が高くなるように思います」（和田さん）

新会員に向けてお話をする村田会長

「私の経済学部生時代はコロナ渦で、ほとんど大学に行かずに卒業となったため、同窓会の方とのつながりがほしいと思い入会しました。現在は、資格取得のために日々勉強中です」（佐田さん）

「現在、新橋のカフェに勤務しています。花澤さんが、お仕事でよく利用されているとのことで、びっくりしました」（小澤さん）

村田会長の音頭で全員が乾杯

「私は、社会人の途中で法政大学経済学部に入り、経済学を学びました。『オール法政新年を祝う会』に出席したとき、そこで経済学部同窓会の役員の方々と知り合い、今回この会に出席しました。せっかく同窓会があるのだから、イベントに積極的に参加したいですね。法政大学には色んな関連組織があるようですが、ありすぎてよくわからない面があります」（川野さん）

これらの話のほかにも、新入会員の今の仕事や、同窓会役員が現役時代の仕事のこと、そして仕事に対する取り組み方などの話題もたくさん出て、盛り上がりました。

そして、同窓会に対する直近の課題としては、同窓会は中堅層が少ないので、ぜひこの年齢層の卒業生に入会いただき、活動に参加してほしいとの話、若い世代は、想像を絶するほどのSNSの知識と運用能力を持っているので、若手、中堅の会員が、これらの若い世代に向けた取り組みをしていく必要があるとの話、そして、入会金を郵便振替に限らない、同窓会に入りやすいシステムの構築が重要、などの話が出ました。

また、ベテランの同窓会役員からは、自分が仕事を通して培った知識を、後輩に伝えたいとの熱意がひしひしと伝わってきて、村田会長からは、まずは自分がレジュメを作り、講話をしてもいいという企画も飛び出し、とても充実した会となりました。

そして、加藤会長代行から「若手の会員の人達が、参加したいと思うようなイベントや取り組みはどういうものがあると思いますか?」と問いかけをしたところ、新会員からは、今は趣味も多様化している時代なので、皆で何か一つのことを同窓会でやろう！　というのは厳しいと思う。どちらかというと、心の拠り所として存在してもらえるといい、との希望が挙がりました。

『イドコロをつくる――乱世で正気を失わないための暮らし方』（東京書籍）の著者である伊藤洋志さんは、一つのイドコロ（安心できる居場所）だけに依存すると、そこがダメになったとき、逃げ場がなくなり、危険である。人間同士のつながりが希薄な今、大事なことは、様々なタイプの複数のイドコロを持つことだと話しています。経済学部同窓会においても、そのようなイドコロの一つとしてのありようが、求められているのかもしれません。

（報告・渡邉　瑞江）

新経済学部長就任挨拶

これから2年間 どうぞよろしく お願い申し上げます

竹口　圭輔

この4月より経済学部長に就任しました竹口圭輔です。どうぞよろしくお願いいたします。

私自身の母校である法政大学に２００４年に着任してから、数えて、今年はちょうど20年の節目に当たる年でもあります。この間、同窓会の皆様とは、学生プレゼンテーション大会等のイベントの立ち上げや、就活・インターンシップへの支援など、ともに歩ませていただきました。とりわけ、私が学部主任のときに手掛けた、学部創設１００周年の記念行事は、強く印象に残っております。コロナ禍に入った直後の難しい状況下、同窓会の皆様の心強い後押しもあり、無事、対面でのイベントを成功裏に終えることができました。

あれから3年あまりが経過し、いまだにコロナの影響が残っていますが、この間に得た知見を活用すべく、大学ではオンラインによる授業や会議などが広く普及するなど、試行錯誤を続けております。

利便性が向上した反面、人と人とのつながりが希薄になってしまったと、強く感じるのも事実です。今の大学生はコロナ禍で、人間関係が希薄なまま学生生活を過ごしているといっても、過言ではありません。

新年度に入り、ウィズコロナからポストコロナにシフトする中、学生同士のみならず、学生と教員、そして卒業生とのつながりをどう確保するかが大きな課題となっています。工夫をこらして、われわれの強みである「つながり」や「絆」を再構築すべく鋭意努力してまいります。同窓会の皆様におかれましても、これまで以上に暖かく学生を見守り、彼らとの交流を深めていっていただければと切に願っております。

前経済学部長退任挨拶

同窓会の益々のご発展をお祈りして

廣川　みどり

この2年間、本当にお世話になりました。

ほとんどコロナ禍のもとでの学部長となってしまいました。２０２０年度に比べれば、教員・学生ともに慣れてきた2年間でしたが、逆に、この状況がいつまで続くのか、という焦りも感じました。対面で出会う機会が減り、繋がりが薄くなるという危機感……そうしたなかでの、同窓会のご支援は、実に心強く感じられました。

「学生ディベート大会」「学生プレゼン大会」では、同窓会のみなさまのコメントも含め、熱のこもったやりとりにこちらまで興奮しました。また、同窓会創立30周年記念行事は大成功だったと思われます。先輩方のエールや様々な方々との出会いをいただき、若い人たちの活躍も目にして、とても興味深く心強く楽しく思われました。それ以外の機会でも、みなさまがいつもお元気で、お目にかかると、明るい気持ちになりました。

２０２３年3月24日は、満開の桜のもとでの卒業式でした。卒業生はみな、誇らしげに学位記を手に、新たな旅立ちに向けて巣立っていきました。

最近知ったのですが、桜の開花には「暖かさ」と同時に「寒さ」も大切で、眠っている芽が「寒い日」が続くことで目を覚ますのだそうです。コロナ禍の学生生活という「寒さ」を経験した者が「同窓会という暖かさ」のなかで、満開の花を咲かせる日を楽しみにしています。

同窓会のみなさまの益々のご健康・ご活躍・ご発展を祈念し、御礼のことばとさせていただきます。本当にありがとうございました。

日野市の桜の名所と高幡不動尊にて４年ぶりの桜を観る会を開催

去る3月30日木曜日、筆者が半世紀近く住む東京都日野市の高幡不動駅に集合して、桜を観る会を開催しました。

当初は、多摩動物公園で動物と桜を同時に楽しむ予定でしたが、2月に園内で発生した鳥インフルエンザによる休園が続いたため、急きょ場所を日野市内の桜の名所と高幡不動尊に変更しての開催となり、小学生を含め10名が参加しました。

新型コロナの流行により、桜を観る会は２０１９年を最後に連続して中止を余儀なくされ、今回は４年ぶりの再開です。

当日は、まず高幡不動駅からバスに揺られて日野市役所前まで行き、そこで写真のような見事な桜並木を堪能。散り始めた桜花の舞も楽しみました。

満開の桜の大樹の下で

樹齢50年以上の桜は、上野公園のものより立派だとの声も聞こえました。また、日野市は田園風景も残っていることから、約15分のバスの旅も、趣があって新鮮に映ったようです。

その後はバスで高幡不動に戻り不動尊を参拝。国の重要文化財にも指定されている仁王門をくぐって、広い境内に入り各々参拝を済ませ、さらに奥に進むと愛宕山。山内には八十八カ所の弘法大師を巡るコースがあり、参加者の皆さんからは、頑張って上ってみるかとの勇ましい声もあがりましたが、階段を含む急坂が続くことから20カ所目で断念。ただ、山内には野草も多く短いハイキングを楽しみつつ、下山（？）しました。

昼過ぎに高幡不動尊を後にし、門前に近い「開運そば」で昼食を交えて歓談。その後高幡不動駅に戻って解散し、約４時間の楽しいいひと時を終えました。

コロナも収束に向かっているとみられることから、参加者の間には、今後の様々なイベントの本格的再開を望む声も聞かれました。

（高森　正雄）

２０２２年度学位記交付に合わせ市ケ谷キャンパスの各教室において同窓会入会パンフレットを配布

２０２２年度の経済学部学位授与式は、3月24日（金）午前に、日本武道館において挙行されました。

その後、卒業生は午後1時から、法政大学市ケ谷キャンパスにある富士見ゲートの各教室で、学位記の交付を受けました。

経済学部同窓会では、学位記の交付にあわせ、入会パンフレットなどの同窓会資料一式を、各教室への卒業生の入室時に、入口にて配付を行いました。

学位記の交付は、４フロア８教室で行われ、各教室の入り口に2～3人の同窓会員を配置しての配布となりました。いつも多摩キャンパスで過ごす経済学部生は、市ケ谷キャンパスに不案内の学生も多いため、案内を兼ねての配布となりました。

今年は、桜の季節に例年にも増して天候不良の日が多く、この日も空模様が心配されましたが、穏やかな陽気に恵まれた学位授与式となり、市ケ谷キャンパス前の外堀沿いの満開の桜が、学位授与式に花を添えました。ただ、コロナ禍がいまだ収束していないことから、いつもであれば同窓会も支援して行われる、卒業祝賀パーティーがなかったことは、少し残念でした。

そして、経済学部の学位授与式と各卒業生への学位記交付が終わってしばらくすると、天候が一変。雲が広がり氷雨が降るようになりました。けっきょく、好天だったのは、経済学部の学位授与式と学位記交付の時間のみ。２０２２年度卒業の経済学部生は、よほど日ごろの行いがよかったのでしょう。

◀華やかなはかま姿で入会パンフレットを受け取る経済学部卒業生
（写真・伊藤　章）

市ケ谷キャンパスの正門▶付近では、学位記を手に記念写真を撮る姿も

第141回学位授与式開催
今回は付き添い1名の入場が可能に

3月24日（金）、桜ほころぶ日本武道館で、第141回法政大学学位授与式（卒業式）が開催されました。学位授与式は、午前の部（9時45分から）、午後の部（13時45分から）の二部制で行われ（経済学部は午前の部）、新型コロナ感染拡大防止のため、学生1名につき付き添い1名の入場とされ、マスク着用などの感染対策をとりながら行われました。

経済学部の卒業生各人への「学位記」と「卒業証明書（和文）1通」の交付は、市ケ谷キャンパス富士見ゲートの各教室で行われました。

今回もコロナ禍を考慮し、卒業祝賀会は行われませんでした。同窓会は毎回、経済学部卒業生を祝福する祝賀会の支援と共に、教授会の推薦に基づいて成績優秀者、学生会代表、国家試験合格者、留学生の表彰を行っておりましたが、上記の理由で祝賀会は中止となり、表彰制度そのものも今回から廃止されました。

表彰制度の廃止の理由としては、年度末は大学学部事務課にとって年間最大の繁忙期であり、これに表彰に関する個人情報を扱う業務が加わるのは、非常に負担が大きいためです。この状況を配慮し、教授会執行部と同窓会との懇談会で検討した結果、この表彰制度は以後取り止めざるを得ないという結論に至りました。

なお、通信教育部の学位記の交付は、11時30分からホテルメトロポリタンエドモント2階「悠久」にて行われ、こちらでも、コロナ禍を配慮し飲食を伴う卒業祝賀会を行なわない形式となりました。

（文・菅野　里見／写真・法政大学提供）

◀付き添者1名も参加しての武道館における卒業式

廣川学部長から学位記を▶受ける経済学部総代の渡邉和樹君

2023年度入学式開催
ガイダンスでは同窓会から案内パンフ配布

4月3日（月）、日本武道館において、2023年度入学式が開催されました。

式典は、午前の部（9時00分開場、9時45分開式）が、法学部、文学部、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、キャリアデザイン学部、デザイン工学部、グローバル教養学部、午後の部（13時00分開場、13時45分開式）が、経済学部、社会学部、現代福祉学部、情報科学部、理工学部、生命科学部、スポーツ健康学部、大学院、専門職大学院、通信教育課程という、二部制で行われました。

そして、学位授与式と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学生1名につき付き添い者1名の入場とされ、マスク着用が推奨されました。

入学式は、最初に応援団によるアトラクションがあり、続いて、廣瀬克哉総長による式辞、森岡書店代表、森岡督行氏（1997年法学部政治学科卒業）をはじめとする来賓の方々の祝辞、小野澤響さん（現代福祉学部）による入学の辞、各学部長からの祝辞、応援団長の指揮による校歌斉唱、新入生への諸注意という順で進みました。

なお、経済学部の場合、以前は入学式とは別の日に、多摩キャンパス大教室A棟にて経済学部新入生オリエンテーションが開催されていましたが、コロナ後は、一度も行われていません。

また、毎年実施されているガイダンス（今年は4月1日・土）では、同窓会からの各種案内パンフレットが、経済学部新入生に配布されました。

（文・菅野　里見／写真・法政大学提供）

校歌斉唱の後にはエールが送られた

2022年度 就職状況 キャリアセンターから

有名企業の複数内定確保で 採用活動の長期化が 進んでいる

コロナ禍３年目となり、引き続きオンライン・対面併用の採用活動が実施された。

パンデミック初期のような強毒性の感染が、やや落ち着いたこともあり、状況を注視しながら最終面接に対面を組み込むなど、企業のメリハリのある採用活動が散見された。学生も上級生の経験を参考に、粛々と就職活動に取り組んでいる様子であった。

２０２２年度新卒求人倍率は１・58倍で、前年度１・５倍、前々年度１・53倍と、横ばいながら持ち直している。

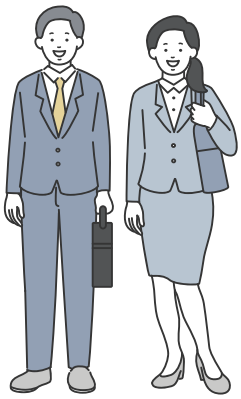
ウクライナ軍事侵攻に代表される地政学的リスクや、原材料費の高騰などが影響したためか、コロナ禍前の売り手市場（１・83倍）に迫る回復とまでは至らなかったが、法政大学で１月下旬に実施したサンプル調査によると、学生の就職希望者内定保有率は96・８％であり、企業の採用意欲は、依然として活発である。

オンラインによる就職活動が主流になったことから、知名度の高い企業に学生のエントリーが集中する傾向が促進され、複数の内定を長期に確保するケースが増加し、採用活動の早期化はもとより、長期化が起きている。

学生はナビサイトに加えて、エージェントやオファー型など、多様な就職支援サービスを利用しているようである。

人手不足で採用難とも言われるが、就職活動中に悩み、迷い、不安を抱える学生の姿は、相変わらずのようである。キャリアセンターでは、引き続き、各種イベントや個別相談、未内定者フォローなどをきめ細やかに実施し、学生の希望進路を支援していきたい。

（キャリアセンター　佛坂　公子）



多摩の息吹

学内はコロナの勢いも衰え 活気が戻ってきました！

経済学部現代ビジネス学科３年の植田臨太郎です。僕は、昨年から経済学部の岡部ゼミに所属し、株式投資についての分析を行っています。そして、コロナパンデミックを端緒とする昨今の景気局面は、これからの人生の中でも数度出くわすことがあろうかといった貴重な機会であり、非常に興味深く動向を注視しているところです。

さて、我々３年生はコロナ禍時に本学へ入学し、長い期間をコロナとともに過ごしました。学内での生活はマスクが必須で、授業の半分以上がパソコンを利用して自宅から参加する形式でした。当然、この形式では大学へ足を運ぶ機会も少なく、登校した際にも学内は閑散とした様子で、大学はかくも寂しい場所であるのかと、落胆めいた感情を覚えたものです。

しかし、コロナへの対策が緩和されるにつれて、登校学生も目に見えて増加し、それに伴ってコロナ以前の活気が戻ってきたように感じられます。学内で人とすれ違う回数も明らかに増加し、以前は閑古鳥の鳴いていた食堂では、机が足りなくなるほどの込み方となりました。バスの行列が途方もなく長くなったことは残念ですが。

最後に、学内に戻ってきた活気をまとめ上げ、さらに盛り上げていくためには、学生会が主催する様々なイベントや、それを支える同窓会の皆様からのご支援が必要不可欠であると考えております。学生会は、さらなる発展のために今後とも尽力して参りますので、引き続きのご支援のほどをよろしくお願いします。

植田（うえだ）　臨太郎（りんたろう）
現代ビジネス学科３年
岡部雅史ゼミ

2023年度入試状況
大学別志願者数 法政10万人を割り第4位

２０２３年度一般選抜の志願者数は、前年度から９２９２人減の９万９０５１人で、10万人にわずかに届かず、大学別志願者数も前年度から一つ下がって、全国第4位であった。

入試方式別では、新たにスポーツ健康学部が加わって13学部での実施となった大学入学共通テスト利用入試C方式（5教科6科目型）が、前年度から１７１８人増えて、過去最多の志願者数となる８８１３人（前年度比１２４・２％）を集めたものの、それ以外の方式はすべて減少した。

このうち、A方式入試（個別日程）が７９８４人減（前年度比85・7％）、T日程入試（統一日程）が２３９８人減（同86・7％）と、この２つは前年度比90％を下回っている。大学入学共通テスト利用入試B方式（3教科型）は４３５人減（同98・0％）、経営学部の新規実施により全15学部で実施されることになった英語外部試験利用入試は、志願者数のさらなる増加が期待されたが１９３人減（同96・6％）という結果であった（この他、航空操縦学専修一般選抜は前年度と同数）。ただ、各方式とも前々回の２０２１年度一般選抜の志願者数は上回っている。

学部別では、前年度から増加したのは文学部と社会学部の2学部のみで、両学部とも2年連続の増加となった。一方、減少した13学部のうち最も減少幅が大きかったのは法学部で、３８７７人減の前年度比69・3％にとどまり、11年ぶりに志願者数が９０００人を下回った。経済学部は前年度から１８５１人減ったものの、志願者数1万１２７０人（前年度比86・0％）で2年連続1万人を超えており、2年連続で本学では経営学部に次いで2番目に多い志願者数となっている

コロナ禍での入試実施が3年間続いたが、感染症法上の「5類」への引き下げに伴い、入試実施における様々な制限等についても緩和されることが予想される。とはいえ、本学としてはこれまでどおり安全安心に、滞りなく入試が実施できるよう、準備を進めていきたいと考えている。

（入学センター・宮瀬　慎也）

2023年度一般選抜　学部別志願者数

学部	2023年度	2022年度	前年度比
法学部	8,742	12,619	69.3%
文学部	8,712	8,570	101.7%
経済学部	11,270	13,121	85.9%
社会学部	10,842	9,847	110.1%
経営学部	14,205	15,391	92.3%
国際文化学部	3,419	4,356	78.5%
人間環境学部	4,660	4,764	97.8%
現代福祉学部	2,385	2,818	84.6%
キャリアデザイン学部	4,033	4,491	89.8%
グローバル教養学部	444	515	86.2%
スポーツ健康学部	2,448	2,879	85.0%
情報科学部	3,978	4,356	91.3%
デザイン工学部	7,244	7,311	99.1%
理工学部	11,092	11,500	96.5%
生命科学部	5,577	5,805	96.1%
合計	**99,051**	**108,343**	**91.4%**

新型コロナウイルス感染症罹患等により、特別措置として大学入学共通テスト利用入試B方式へ振替受験した出願者を含んだ人数

2023年度 経済学部教員人事

教授会執行部

経済学部長
竹口　圭輔　教授（新任）

教授会主任
武田　浩一　教授（新任）

教授会主任
芝田幸一郎　教授（新任）

教授会副主任
池上　宗信　教授（新任）

定年退職（3月31日付）
長原　豊　教授
山﨑　達朗　教授

新任
友松　夕香　准教授（文化人類学）
リッチングスヴィッキーアン　任期付准教授（日本語）

在外研究員
篠原　隆介　教授
杉本　龍勇　教授
菅原　琢磨　教授
菅　富美枝　教授
田中　優希　教授
山﨑　友紀　教授
田村　理香　教授（春学期）

在外研修員
張　欣　教授

国内研究員
ジェスダイヤモンド　教授
冨永　靖敬　准教授

会員短信

全国の会員から事務局に寄せられた
お便りを紹介します
（　）は西暦年です

北海道から

川南　卓也（17年卒）
岩見沢市　45歳

毎年5月に会員に届く同窓会報は、所謂「5月病」を吹き飛ばしてくれる有り難い存在です。

経友会に入会するまでの頃を思い返すと、通信教育課程の単位修得試験やスクーリングなどをまだ受けておらず、地方在住という事情もあり、法政大学の関係者をまったく知りませんでしたので、在学への寂しさや不安を感じていました。

経友会に入会して驚いたのは、通教支部があり、通学課程のゼミや学生会などとの交流がある事。

通学課程の経済学部生が各学年約900名、通信教育課程では経済学部全体で3000名弱在籍していますが（2022年5月現在）、会費1000円を1度納めるだけで卒業するまで有効とされる学生会員制度の存在を知る経済学部生数は、どれ程なのでしょうか。とりわけ新入生には、積極的な宣伝や入会を勧めていくべきだと思っています。

千葉から

角田　勇（64年卒）
流山市　81歳

今年の箱根駅伝、法政頑張りましたね。この姿を法政各運動部が目標にしてほしい。それぞれが頑張っているとは思いますが、一歩抜き出てほしいと思います。特に野球部の胴上げを期待したい。23シーズンも優勝出来なかった歴史を知るものとしてつくづく思うのです。

花澤　良三（71年卒）
市原市　74歳

私が事務局長として活動している、「市原ルネッサンス」の環境美化活動が、「セブンーイレブン記念財団」の機関誌『みどりの風』に掲載されたので、その内容を報告させていただきます。

私は「セブンーイレブン・ジャパン」に27年半在職して、退職後にこの活動に参加しました。セブンーイレブン記念財団は、セブンーイレブンの店舗のカウンター釣り銭の募金と、セブンーイレブン・ジャパンの寄付金で「自然再生活動」の支援を行い、この活動についても支援しています。

この活動を始めるきっかけは、15年前に地域の交通の要である「小湊鐵道」が、過疎化により乗降客が大幅に減少したため、存続が危ぶまれる状況に追い込まれていたことです。「ただ残せ」との情緒的な反対運動を行うのではなく、自分たちができる事を行う事から、活動をスタートにしました。

代表の松本靖彦氏は、中学校の校長を退職後、地元の「飯給（いたぶ）駅」周辺から「故郷の原風景」を取戻す活動をスタートしました。自分たちが現役で夢中で働いている間に、いつの間にかこの周辺は荒れ果てていました。小湊鐵道に文句を言わず、自分たちでできる事を実践しようと仲間に呼びかけ、不法投棄されたゴミの回収からスタートし、竹で覆われてしまっていた「小さな滝」の復元を行いました。

併せて、飯給駅のそばの神社の里山を整備し、駅周辺の草刈りを行い、菜の花の種を蒔いて、毎年4月初旬に「菜の花祭り」を催すようになりました。多くの仲間と汗をかくことをモットーとして活動しています。

長く続けることでこの活動が評価され、小湊鐵道沿線の他の町会も活動に参加してくれて、NHKのテレビでも紹介され、市原の新たな観光名所となりました。今年も沢山の観光客が訪れています。小湊鐵道も活動に協力してくれて、廃線の話も今は無くなっています。目的を持って活動を継続しています。

小湊鐵道の路線沿いを草刈り機を使い整備する様子

飯給駅周辺は菜の花でいっぱい

菜の花祭りの開催期間に走る小湊鐵道に桜も色を添える

東京から

竹内　實昭（62年卒）
目黒区　86歳

筋肉は鍛えると年齢に関係なく強くなると教わり、ジムに通って20年、日々の散歩とゴルフを楽しんでいます。77年前には、満州牡丹江の円明国民学校小学3年生でした。1945年8月9日ソ連の参戦とともに避難が始まり、弟の死、叔母の死、戦場を駆け回ったことなど多くの体験をしました。翌年秋に葫蘆島から、米軍空襲による焼け跡の日本に引き揚げてきた、戦争の記憶がある世代です。

戦後、平和憲法、第九条のおかげで、戦争のない日々が続いていますが不安の昨今です。コロナ禍のために俳句の会や講演会の聴講などはZoomです。Facebookでの送受信、日本記者クラブでの例会や出会いは良い糧になっています。1936年東京生まれ86歳。花原二郎ゼミ出身。

胡口　靖夫（69年卒）
渋谷区　81歳

佐藤　博様

無病息災で無事卒寿を迎えられたとのこと、誠におめでとうございます。小生も、コロナ禍で人々との交流が困難な中、座って書ける新聞への投書などの「雑文」書きが老化防止に役立つと、愚考し実行しています。けれども難関でボツが多いのですが、めげずに続けています。ただ、そのために肩こりに悩まされています。

私は、剣道の心得はありませんが、貴兄がなさっている毎晩の木刀100回素振りは名案だと思います。猫の額ほどの拙庭なら、人目につかず20回くらいから真似事をしてみようと思います。ご助言ありがとうございました。お元気で白寿をめざしてください。

山口　省吾（65年卒）
北区　83歳

7回目の年男になりました。

油絵、合唱、グランドゴルフ、点字と多忙に過ごしています。時々荒川沿いにサイクリングを楽しんでおり、いたって元気に毎日を送っており、これも家族をはじめ、関係の皆々様のお陰と心から感謝しております。

ゆったり、ゆっくり、じっくりと思っていますが、なんとなく慌ただしく過ごしていると反省しているところです。

原田　延治（58年卒）
東村山市　87歳

ワンダーフォーゲル部のOB古布会で、年4回程の散策を楽しんでいます。

神奈川から

土開　光雄（61年卒）
小田原市　84歳

TV番組で、本校の概要が放映されました。当時六角校舎等で学んだ者としては、久しぶりに見る校舎の大きさと充実した施設には驚きました。

受験生も増加して人気大学の様子、他の大学には無い特色ある学校を目指して益々、発展されることを願っております。

最近は、脳の活性化を図るため、英語を復習して楽しんでおります。

石川から

卯野　修三（81年卒）
能美市　63歳

「リニア中央新幹線で、法政で学ぼう‼」

JR横浜線、JR相模線と京王相模原線が接続するJR橋本駅南口の前で、2027年？完成予定のリニア中央新幹線の神奈川県駅（仮称）の工事が進んでいます。リニアに一番近い大学、法政大学としてPRが必要です。多摩校舎のポテンシャルも上がります。新駅ができる甲府、飯田、中津川の各周辺での法政大学の宣伝の絶好の機会です。

千載一遇のチャンスを活かせ！まさにチャンス法政ﾌﾝﾌﾝ

お願い申し上げます

法政大学経済学部同窓会
会長
村田紀敏
昭和41年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会
会長代行
加藤毅
〒175-0082 東京都板橋区高島平五―三一―一二
電話 〇三（三九三〇）八六六五
一九六〇年経済学部経済学科卒（上杉ゼミ）

メガソーラーコンサルタント
愛花創業㈱代表取締役
法政大学経済学部同窓会
幹事長
総務部会長
花澤良三
〒290-0141 千葉県市原市ちはら台東二―一一―一三
電話 〇四三六（三六）一一六〇
昭和46年経済学部経済学科卒

法政大学経済学部同窓会
事務局長
髙森正雄
〒191-0002 東京都日野市新町一―八―一九
昭和45年経済学部経済学科卒（渡邊佐平ゼミ）

経済学部同窓会副会長
文化シヤッター株式会社
代表取締役
会長
潮崎敏彦
昭和45年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会
副会長
菅野里見
〒192-0913 東京都八王子市北野台三―四六―一一
電話・FAX 〇四二（六三七）二五三五
昭和42年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会
副会長
佐々木範光
〒359-0007 埼玉県所沢市北岩岡一―一七
電話 〇四（二九四二）七八〇六
昭和42年経済学部卒

村串仁三郎法政大学名誉教授　著
「高度成長期日本の国立公園」
――自然保護と開発の激闘を中心に――
（時潮社、三五〇〇円）
著者は一九六九年法政大学大学院（博）単位取得
博士（経済学）
経済学部同窓会副会長・HP副部会長

法政大学経済学部同窓会
事業部会長
元角昌三
〒188-0005 東京都武蔵野市御殿山二―二〇―五
電話 〇八〇（二〇〇六）八九八七
一九七〇年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会
財政部会長
会田久仁夫
〒336-0017 さいたま市南区南浦和
三―二七―二二―一〇〇六
昭和42年経済学部卒

NPO法人海外留学生安全対策協議会JCSOS
理事長
池野健一
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二―十二―十五
日本薬学会 長井記念館ビル一階
電話・FAX 〇三（六四一八）〇七一七・〇七一六
E-mail:kikeno@jcos.org
一九七二年経済学部卒

公認会計士法友会
会長
太田荘一
〒169-0074 東京都新宿区北新宿四―一九―一五
（正和ハイツ）
電話 〇八〇（七〇〇九）二六九一
飯塚昇
昭和52年経済学部卒

法友体育会顧問
法友ハンドボールクラブ名誉会長
川崎保之
〒183-0035 東京都府中市四谷三―六四―二四
電話 〇九〇（二六四八）六三〇一
昭和38年経済学部経済学科卒

経済学部二部会計学研究会OB会
公認会計士
税理士
桑原正信
〒306-0016 茨城県古河市古河五四四―一四七
昭和43年経済学部商業学科卒

2023年度もよろしく

オフィス曽根
代表　南　章乃
〒105-0013 東京都港区浜松町一―一―六―四〇四
電話　〇三（三四三七）〇七八五
FAX　〇三（三四三七）〇七八三
携帯　〇八〇（三五六七）〇四三九
Gmail：753aass@gmail.com

高橋建設興業株式会社
取締役会長　高橋久之
〒212-0004 神奈川県川崎市幸区小向西町四―六五
電話　〇四四（五一一）〇五五七
FAX　〇四四（五五五）一二八七
昭和35年経商卒

コマニー株式会社
会長　塚本幹雄
〒168-0065 杉並区浜田山四―一六―四
セントマークス浜田山一一六
昭和48年経済学部経済学科卒

南宗谷カントリー倶楽部
顧問　深井信朗
〒098-5204 北海道枝幸郡枝幸町歌登南町三八〇―四
電話　〇一六三（六八）二八三六
昭和36年経済学部商業学科卒

二度栗山興業株式会社
取締役会長　宮内良雄
昭和26年経済卒

祝法政大学経済学部同窓会創立31周年
中野ゼミOB会（77会）一同
E-mail：y_may_kanao@yahoo.co.jp
電話　〇四二（五一一）九七四一

KGMコンサルティング代表
世界大学ランキングエキスパート
綿貫健治
E-mail:ikencom1929@yahoo.co.jp
昭和40年経済学部卒

文京法友会
相談役　高橋将昭
昭和34年経済学部卒

名刺広告の出稿をお願いいたします

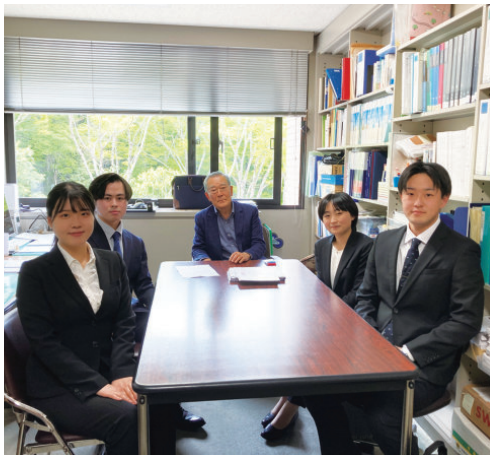
同窓会運営の貴重な財源となっているのが、会員の皆様からの名刺広告の出稿と寄付です。名刺広告は1マス1万円で受け付けております。同窓会の活動にとって重要な原資ですので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

【振込先口座】
郵便振替００１７０６―６０２０７０
三菱ＵＦＪ銀行橋本支店普通０１６６６７０
＊詳しくは事務局にお尋ねください

事務局COLUMN

新旧学生会代表がご挨拶にみえました

4月14日金曜日、学生会の代表が交代のご挨拶に事務局を訪れ、当方が用意した昼食を交えて、今後のOB・OGとの懇談会の開催など、同窓会と現役学生との交流の在り方について、ざっくばらんな会話を楽しみました。これまでの代表であった田中美雨さん、永井健太さんには昨年、同窓会創立30周年記念行事のお手伝いをいただき大変助かりました。お二方とも就職が決まったとのことで、誠におめでとうございます。今後代表を引き継がれる植田臨太郎さん、遠藤千加さん、よろしくお願いします。（事務局長　高森正雄）



左から、遠藤さん、植田さん、髙森事務局長、田中さん、永井さん

【新入会員】
2022年12月～（）は西暦卒年［ ］は紹介者　敬称略
川野淳子（06）
阿部かおり（22）
小田長啓太（22）
小林貴幸（98）
小野清人（23）
中村睦子（23）
村井結（23）
植田臨太郎（学生）［菅野 里見］
遠藤千加（学生）［菅野 里見］
村岡幹太（学生）
木下理梨香（学生）

【一般活動支援金寄附】
2023年1月～　1口　千円　（）は西暦卒年　敬称略
桑原正信　10口（68）
会田久仁夫　10口（67）
新井宣男　15口（60）
川南卓也　1口（17）

【学生支援金寄附】
2023年1月～　1口　千円　（）は西暦卒年　敬称略
川南卓也　1口（17）

【100周年記念寄附】
2023年1月～　1口　千円　（）は西暦卒年　敬称略
久保田幸雄　10口（58）

【30周年記念寄附】
2023年1月～　1口　千円　（）は西暦卒年　敬称略
鈴木直次　10口（62）

【訃報】謹んでご冥福をお祈りいたします

2023年1月～　（）は西暦卒年　敬称略

ご遺族の方から次の会員のご逝去のご連絡がありました。
同窓会発展のために、ご尽力ありがとうございました。

倉田勲（63）
福山順子（67）
小澤昭治（59）
菅野渡（59）
菊池二朗（50）
中山榮（61）
齋藤泰雄（64）
斎藤俊成（67）
機所芳雄（36）
加藤八郎（61）
岡本昭雄（51）
中嶋良二（64）
小松三男（65）
笹平隼夫（61）

※加藤八郎さんは、10年程前にご逝去（ご家族様より令和5年2月にご連絡をいただきました）
※中嶋良二さんは、3年前にご逝去（ご家族様より令和5年3月にご連絡をいただきました）
※小松三男さんは、6年前にご逝去（ご家族様より令和5年3月にご連絡をいただきました）

事務局からのお知らせ

新年度が始まり、コロナ禍の制限もほぼ解かれて、ここ多摩キャンパスの学生の数も、新入生を含めて格段に多くなりました。私は、原則毎週火曜日に車で事務局に出勤していますが、正門のそばにあるバスターミナルからそれぞれの校舎に向けて押し寄せる大勢の学生が、横断歩道を渡り切るのを待つ、それが日常になっています。

若者であふれかえるキャンパスは、後期高齢者になりたての私にとって、活力の源にもなっているかもしれません。季節はまさに春たけなわ。「学徒出陣の記憶」とも呼ぶようになった平和祈念碑の花壇も、色とりどりです。

平和祈念碑周辺も春爛漫

最近の活動

2023年１月以降の主な活動は以下のとおりです。

- １月７日（土）　隅田川七福神巡り
- １月18日（水）　教授会執行部との懇談会
- １月21日（土）　第４回代表・常任合同幹事会
- ２月18日（土）　新入会員との懇談会
- ３月18日（土）　第５回代表・常任合同幹事会
- ３月24日（金）　学位授与式後の学位記交付会場において卒業生に同窓会資料を配布
- ３月30日（木）　桜を観る会（東京都日野市・高幡不動尊）
- ４月28日（金）　会報発送作業
- ４月29日（土）　神宮にて野球応援

今後の予定

- ５月10日（水）　教授会執行部との懇談会
- ５月20日（土）　第６回代表・常任合同幹事会
- ６月３日（土）　2023年度定期幹事総会
- ６月　学生ディベート大会

（事務局長　髙森　正雄）

編集室から

「会員短信」の欄は、近況や大学に関わる思い出などを伝え、会員間の親交を図るのが趣旨です。政治経済的意見や難解な文字表現での投稿はご遠慮ください。